

リウマチだより

VOL.10 院内版 2024年6月1日発行



リウマチ科みやもと 院長 宮本茂輝

〒526-0034 滋賀県長浜市弥高町 269 番

TEL : (0749)53-3887 / FAX : (0749)53-3877

URL : <https://rheumatoid-arthritis-miyamoto.jp>



🐌骨粗鬆症豆知識🐌

前回のリウマチだよりでは、薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) について書きました。今回も骨粗鬆症診療に関する豆知識をお伝えしたいと思います。

骨粗鬆症患者さんは約 1280 万人と言われており、その治療は骨粗鬆症学会認定医や整形外科医だけで完遂できるものではなく、プライマリケア医の先生方の尽力が不可欠と言えます。骨粗鬆症学会認定医として、気になっている点に焦点を当て述べていきたいと思っています。

① 骨密度 (DXA 法) は必ず腰椎と大腿骨近位部の 2ヶ所を同時測定しましょう！

骨粗鬆症診療において、定期的な骨密度の測定は非常に重要です。その測定法として、MD 法 (中手骨での測定) などもありますが、ゴールドスタンダードは DXA 法になります。そして、腰椎と大腿骨近位部の同時測定が重要です。

複数部位で骨密度を測定した場合、その人の骨密度は低い方を採用します (骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年版) 例えば、骨密度 (%YAM) が腰椎 80・大腿骨近位部 60 であれば、その人の骨密度 (%YAM) は 60 であり骨粗鬆症の診断になります。腰椎の骨密度は、骨折を生じるとむしろ上昇します。また退行変性により上昇しやすく、腰椎骨密度は過大評価になる傾向にあるため、その解釈には注意が必要です。

② 必ず骨折の既往を確認しましょう。

骨粗鬆症診療において骨密度の評価は重要ですが、何よりも問診での骨折の既往の確認が重要です。それは、腰椎や大腿骨近位部の脆弱性骨折の既往があれば、骨密度の値に関わらず、一発で骨粗鬆症の診断となる (骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年版) からです。骨粗鬆症の診断となれば、骨粗鬆症治療開始基準に該当します。また、腰椎骨折の約 2/3 では無症状 (いわゆる「いつの間にか骨折」) ですので、定期的に胸椎や腰椎のレントゲン撮影を行うことも重要で、新規骨折があれば治療対象となります。



③ BP 製剤は、「活性型ビタミン D 製剤と併用」しましょう！

BP 製剤は骨粗鬆症診療において最も広く使用されている薬剤と言えますが、気になる点は、BP 製剤

単独で使用されているケースが多いという点です。ビタミン D 充足状態の指標である「25(OH)D」は、30ng/ml 未満では「非充足状態」、20ng/ml 未満では「欠乏」と判断されますが、日本人女性のほとんどは、「非充足状態」にあります。ビタミン D が充足されていない状態で BP 製剤を投与しても、そのポテンシャルを十分に発揮することはできません。したがって、BP 製剤使用時には、エルデカルシトール（エディロール®）・アルファカルシドール（アルファロール®）・カルシトリオール（ロカルトロール®）といった活性型ビタミン D 製剤との併用が重要です。

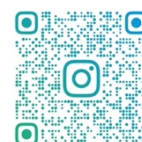
④ 活性型ビタミン D 製剤投与中には、必ず「カルシウム(Ca)とアルブミン (Alb)」を測定しましょう！

上記の活性型ビタミン D 製剤は、BP 製剤やデノスマブ（プラリア®）、ロモズマブ（イベニティ®）と併せて使用されるだけでなく、それ単独で使用されることもあります。大腿骨近位部や大腿骨頸部の骨密度が低い例や同部の骨折の既往のある方には、単独での使用は勧められません。

さて、活性型ビタミン D 製剤投与中には、常に「高 Ca 血症」に留意しなければなりません。定期的に Ca を測定されているケースが非常に少ない印象を受けます。また、Ca を測定していても Alb が測定されていないこともあります。Ca 値の評価の際には必ず、アルブミン補正が必要です。「補正 Ca 値 (cCa) = 実測 Ca 値 + (4 - Alb)」が 10mg/dl を超えるようであれば、活性型ビタミン D 製剤の減量や中止の検討が必要です。その理由は、**高 Ca 血症により急性腎障害を生じる恐れがあるため**です。腎障害がベースにある患者さんに対して活性型ビタミン D、中でも Ca 上昇作用の最も高いエルデカルシトール 0.75 μg を使用する場合は特に注意が必要です。

♡ 待合室の様子 ♡

定期的な通院が苦痛にならないよう、ほっこり楽しんでもらえたらと始めた待合室の飾り付け。季節に合わせた折り紙の作品を、毎月展示しています。竹でできた飾り棚を活かした5月らしい飾りを考えた時に、ふと「藤棚」が浮かび、スタッフ全員で作成しました！それに加えて「こいのぼり」も作成し、待合室が賑やかです。これらの作品は、当院の Instagram でも紹介しています。



Instagram はこちらから→



体調不良時は
我慢しないで！！

- ・発熱 ・嘔吐 ・腹痛
- ・ひどい咳 ・下痢
- ・インフルエンザにかかった
- ・コロナにかかった など

★ 当院までお電話ください！ ★

明らかに普段とは違う体調不良がある場合には メトトレキサート を中止して、当院までお電話をお願いします。お薬を継続しても良いのか、こちらで判断し、対応をお伝えします。

(0749) 53-3887 ※診療時間内のみ ※夜間・休診日に症状が悪化するようであれば、お薬手帳と直近の血液検査の結果を持参の上、救命救急センターを受診し、後日診療時間内に当院までご連絡をお願いします。

